

天沼小だより

文責
校長

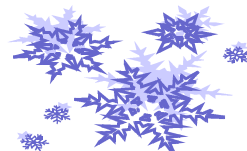
丹羽 悦子



行事が多かった2学期 大変お世話になりました

22日から冬休みになります。2学期は運動会、校外学習、持久走大会などたくさんの行事がありました。それぞれの行事で、子どもたちはがんばり、成長してきたと思います。これらの行事に保護者の皆様にご協力いただきましたことに感謝を申し上げます。

ご健康に留意され、良いお年をお迎えください。



冬休み 家庭や地域で様々な体験をさせましょう

冬休みは、年末年始の家庭のお手伝いをしたり、地域の行事に参加したりすることによって、子どもにとっては生活の知恵や人付き合いの作法などを学ぶよい機会です。学校ではできない学びを是非体験させてほしいと思います。

安全で有意義な冬休みにするために

1. 考えて生活をしましょう

小学生の非行で多いのが、万引きです。人にさそわれても絶対にやってはいけないことをお話ししていただきたいと思います。また、お正月は普段より多くお金を持っていることからゲームセンターなどでお金をおどし取られる事件があります。子どもだけでゲームセンターや大きなスーパーなどに行かないようにご指導をお願いいたします。



2. 健康で安全な生活をしましょう

冬休みも、交通事故には十分気を付けてください。特に「飛び出しはしない」「自転車に乗るときはヘルメットをかぶる」ということを、家庭でも機会あるごとに話してください。また、「火遊び」も大変危険で、特に乾燥しているこの時期は重大な事故につながります。これも絶対にしないように、ご指導をお願いいたします。



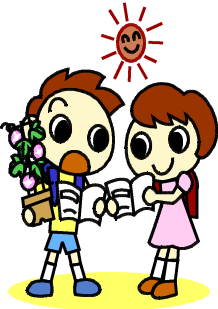
通知表について

通知表は、児童の学校生活の様子を保護者にお知らせして、学校と保護者が連携協力して、子育てをするための連絡表であると考えています。

通知表に書いてある教科の評定ばかりでなく、行動の様子や特別活動の記録、出欠席の様子および通信欄をご覧いただき、お子さんの得意・不得意、長所・短所を捉えて、良いところをほめてのべしたり、足りないところを補ったりするように励ましてほしいと思います。

教科の評価は、各観点（学年ごとに文言は異なりますが、おおむね以下の4つの観点になっていきます）における一人一人の現在の学習状況（到達状況）をA、B、Cで表しています。（1年生は、1、2学期はBとCのみで表しています）

教科の観点	(国語だけは、国語独自の観点になっています)
[関心・意欲・態度]	その教科(内容)に対する興味・関心の程度や学習に取りむ意欲と態度がどうか
[思考力・表現力]	その教科(内容)で求められる思考活動や表現活動が行われ、力として身に付いているか
[技能]	その教科(内容)で、身に付けたい技能が身に付いているか
[知識・理解]	その教科の学習内容が理解され、知識として身に付いているか
評価	
A・・・	その学年で、その学期の学習(内容)において、よくできている
B・・・	〃 おおむねできている
C・・・	〃 もう少しがんばればできる



評価にあたっては、授業中の一人一人の学習の様子(発言やノートに書いた考え、発表やその練習の様子、作品制作の過程、できあがった作品、宿題や提出物の取組状況、豆テストや単元末テストの結果等)多面的に情報を集めて評価を行い、さらに学年で複数で互いに評価をしあって、より客観的なものにしていきます。

評価がCだった場合、その学年のうちに、復習(補充)して、Bのおおむねできているへ改善したいと考えています。「もう少しがんばれば」の児童にもう少しがんばらせたいと考え、指導を続けていきます。

また、「行動の様子」については、その学年で身に付けたい望ましい行動を掲げて、他との比較ではなく個人内で優れている項目に○、改善してほしい項目に☆を、これもまた複数の観察に基づいて評価しています。

「通信欄」には、その学期に見られたお子さんの特筆すべき事柄が書かれています。文章に書かれた担任の思いを汲み取っていただいて、お子さんの成長につなげていただければと思います。また、返信欄には、お子さんの家庭での様子を書いて知らせていただけると、担任として指導に役立てることが出来ます。

子どもについて、集団の中で見ている担任(学校)の見方と我が子中心に見ている親(家庭)の見方は、違っていることは当然にあります。どちらも子どもの見せる一面を見ているという認識と別の見方があるかもしれないという考えをもって、学校と家庭が連携協力することが子どもの成長のために大切と考えます。

学習支援 最後まで ありがとうございました

12月11日(火)3・4時間目に5年2組の家庭科がありました。ちょうどエプロンを制作している実習でした。

この日は、どんぐりの会の庄司さんと佐藤さんが、ボランティアでお手伝いに入ってくださいました。すでに、何度かお手伝いいただいています。子どもたちは、ミシンの調子が悪くなったり、わからないことがあったりすると声をかけて、お願いしていました。

久保教諭が、家庭科はこのクラスの担当です。グループに分かれて、実習に入ると1人では、対応に時間がかかってしまいます。ボランティアの皆さんがいてくださると大変助かります。

今後、学校は、社会に開かれた教育課程ということで、地域や保護者の皆様と連携・協働を深める方向に進んでいきます。よろしくお願ひします。

